

職場における学び・学び直し促進シンポジウム
企業事例 アークグロー・パートナーズ税理士法人

2024年10月3日

アークグロー・パートナーズ税理士法人 代表社員 國松慶太

本日のアジェンダ

- **会社紹介**
- 学び、学び直しの取り組み
 - ①取り組みのきっかけ
 - ②取り組み内容
 - ③取り組みの成果
- まとめ

会社紹介

- ・ 法人名 アークグロー・パートナーズ税理士法人
- ・ 設立 2021年6月（創業2013年）
- ・ 役員 代表社員 國松 慶太 社員 國松 祥
- ・ 事業内容 税務申告、会計指導、財務コンサルティング、事業承継対策、相続申告、DX化支援
- ・ 従業員数 11名（役員2名、社員6名、パート3名）
- ・ 提携企業 大同生命保険(株)、ジブラルタ生命保険(株)、日本生命保険相互会社
積水ハウス(株)、大和ハウス工業(株)
弁護士、社会保険労務士、司法書士、行政書士の各事務所



従業員データ

- ・ 年代別 40代：4名 30代：2名 20代：2名 10代：1名
- ・ 男女別 男性：1名 女性：8名
- ・ 入社年別 10年以上：2名 5年以上：2名 3年未満：5名
- ・ 資格取得・教育制度
 - 税理士科目合格 2名
 - 巡回監査士科目合格 3名
 - 巡回監査士補科目合格 4名
 - 生命保険募集人資格 5名
 - 損害保険募集人資格 5名

【ミッション】

日本の起業後10年の生存率は10%
生存していても70%は赤字会社

会計を基礎として会社の問題を認識し、適切な課題を経営者と共に設定し

会社の発展と関わる人たちの物心両面の幸福と地域社会の発展に寄与する

【私たちの夢】

私たちの夢は、お客様とパートナーとして共に歩み、たくさんの「ありがとう」をいただく事務所になることです。

私たちの夢は、お客様が一番になることです。共に成長し、全従業員とその家族が幸せになるお手伝いをしてお客様に喜ばれることです。

私たちの夢は、同じ志・想いをもち、互いに刺激し合い成長し夢を語り合えるチームをつくることです。

私たちの夢は、会社で働く全従業員の幸福を追求し、従業員とその家族に喜ばれる会社になることです。

【経営理念】

お客様の社外CFOとして財務の健全化を図るとともに
ビジョン実現を支援し、その価値提供の範囲を最大化する

「不の解消」と「夢の実現」のためのパートナーとして共に歩む

【教育・訓練に関する方針】

社員教育の目的は、儲けるためでなく「社員の人間性を高めること」と「お客様満足」にある。そのための優先順位は、第1に人柄のよい社員の確保と育成により社員の人間性を高めること。社員教育により、良い習慣を身につけ、価値観を共有できる集団になること。人間性を高めるためには、学ぶだけでなく、実践すること、即ち訓練が大事。

第2に会社の売上（=お客様への提案）に貢献する等の技術教育にある。社員の幸せは、技術的な成長と人間的な成長により、お客様に喜ばれたり、感謝されることにある。

本日のアジェンダ

- ・ 会社紹介
- ・ **学び、学び直しの取り組み**
 - ① **取り組みのきっかけ**
 - ② **取り組み内容**
 - ③ **取り組みの成果**
- ・ まとめ

①取り組みのきっかけ

課題 1

学ぶ意識と姿勢

- ・心のコップを上向きに
- ・自ら学ぶ

課題 2

1人2役、3役の中小企業の現状

- ・目の前の仕事でとにかく忙しい
- ・必要な知識や技術は多種多様

課題 3

従業員の定着

- ・フォロー不足
- ・将来が描けない

我々中小企業は求人に頼る経営から従業員定着に向き合う経営に転換しなければならない
従業員定着の要諦は「待遇、成長、そして誇り」

従業員が成長する仕組みを定着させ、成長した従業員に見合う業務を提供し、好待遇をもって
従業員の成長と誇りに応えていくためには教育・人財への投資が必要不可欠

仕事で接する相手が企業経営者であり、自分の親世代の方々と対等に、時には厳しく対応していかなければならないので、知識や技術の習得前にそれを入れる器をつくることと受け身ではなく自発的に学ぶ心構えをつくることが大事。

- ・ 会社の方向性、未来像を全員がカラーで描けるようになるための理念、ビジョンの共有
- ・ 何のために仕事をするのか
- ・ お客様に提供する価値基準の共有

研修の目的を明確化

研修（学び・学び直し）は「業務品質の向上」「業務の均質性の維持」のために必要なものであり、忙しいくて時間がない、費用が捻出できない等の理由でやらないのは、これを放棄していることと同様である。

②取り組み内容

1、学び・学び直しの方針決定

- ・「教育、訓練に関する方針」を経営計画書に明記

2、学び・学び直しのための環境の整備

- ・業務時間内に、学び・学び直しの時間を確保
- ・人材開発支援助成金（教育訓練休暇付与コース）を社内で周知、活用し「学ぶべきもの」以外に「学びたいもの」の時間を確保
- ・外部研修の積極的活用で体系的な知識習得の機会を増やすと共に社内で不足する人や時間をカバーする
- ・年間スケジュールを作成し、学ぶことを後回しにしない仕組みづくり

3、知識、スキルの習得機会の提供

- ・社内研修の目的を明確化、入社年数や知識・技術に応じた階層別の研修を設置
- ・月に一度、外部講師を招いて様々な分野に関する研修を実施
- ・同業団体や行政が実施する研修、セミナーの積極活用
- ・資格取得の支援

③取り組みの成果

□売上、社員数の増加

- ・売上は5年で20%増加（時間当たり単価は50%増加）
- ・従業員数は5名（平均年齢44歳）から2024年11名（平均年齢35歳）

□自分自身でPDCAが回せるようになった

- ・自分自身で課題や目標の設定が可能に（SMARTの法則）→朝礼で目標を現状を報告→目標とのギャップを埋める行動計画
- ・会社の目標、課題ごとにチームを設置→目標達成のための行動計画を自ら立案→自分、お客様、会社に対してやることが明確化

□従業員の成長と無形財産の蓄積

- ・モデルキャリアプランの作成→成長シートの試験的導入（評価制度）→自分の未来像を考える機会の提供→年間研修受講時間の増加→研修内容を受講者が講師として共有

□取り組みが成功したポイント

- ・何のために学ぶのか、学んだことを活かした結果どうなるのかを明確化し共有したこと
- ・仕事にやりがいを感じ、生き生きと働くためには学びが必要だと理解できたこと
- ・成長シート（評価制度）の試験的導入と個人面談で期待することをフィードバックしたこと
- ・入社年数や階層別の研修を導入し、自分の現状に合った研修を受講することができた
学んで終わりではなく、振り返り（研修報告や受講者が講師として内容を共有）を徹底したこと

□今後の展望

社内や自身の取り組みをお客様に提供

- お客様の業績アップに貢献
- 新規紹介や顧問料の増額
- 地域の業界一の給料
- 長期休暇が取れる体制づくり

ご清聴ありがとうございました



アークグロー・パートナーズ
税理士法人

Arc Grow Partners Tax Accountant Corporation